

■ H21(2009)年4月16日

平成21年度 京浜河川事務所事業概要（神奈川県域）

京浜河川事務所は、多摩川、鶴見川、相模川及び沖ノ鳥島の3河川1島を管理している事務所です。

当事務所では、増加傾向にある集中豪雨等を踏まえ、水害を未然に防止し、流域の皆様の安全、安心を確保するため、河川構造物や河川堤防の強化、防災拠点などのハード面での対策の他、防災情報の提供などのソフト対策に取り組んでいます。

また、快適で豊かな河川環境を提供し、地域の皆様に気楽に水辺を楽しんで頂くために自然再生、美しい水環境の保全などの環境整備事業、河川空間内のバリアフリー化等を推進しています。

平成21年度の主要事業（神奈川県域）は次のとおりです。

- 多摩川： 堰の改築（二ヶ領上河原堰改築）
無堤部の解消（二子玉川南地区）
堤防の安全性向上（堰一丁目地区）
高規格堤防の整備（港町地区、東古市場地区）
- 鶴見川： 流下能力の向上（潮見橋架替、河道掘削）
土壌無害化处理（鶴見川多目的遊水地）
堤防補強（駒岡五丁目地区）
- 相模川： 無堤・弱小堤の解消（萩園地区他）
河川利用の促進（馬入地区ふれあい施設整備）
堤防の維持管理（堤防除草）

【資料は巻末に添付しています】

平成21年4月16日発表

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

| | |
|---------|--|
| 発表記者クラブ | 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ |
| 問い合わせ先 | * 国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所 ・ 副所長 山口 充弘 TEL.045-503-4000(代表) ・ 計画課長 伊藤 和彦 TEL.045-503-4091(直通) |

平成21年度 京浜河川事務所予算概要

事業費（百万円）

| 予算項目 | | 前年度 事業費 (当初) | 今年度 事業費 | 対前年度比 | |
|----------------------------|----------------------|--------------------|------------|---------|--|
| 河川整備事業費 ※ 河川都市基盤整備事業費含む | 河川改修関係 | 6,581.0 | 6,896.0 | 104.8 % | |
| | ・ 一般河川改修 ※ | 3,086.0 | 3,410.0 | 110.5 % | |
| | ・ 特定河川改修 ※ | 1,821.0 | 1,886.0 | 103.6 % | |
| | ・ 高規格堤防整備 ※ | 1,674.0 | 1,600.0 | 95.6 % | |
| | ※ 河川都市基盤整備事業費を含んだ事業費 | | | | |
| | 河川維持修繕費 | 1,659.3 | 1,703.3 | 102.7 % | |
| | 河川工作物関連応急対策事業費 | 32.6 | 30.0 | 92.0 % | |
| | 河川事業調査費 | 3.6 | — | — | |
| | 河川総合開発事業調査費 | 3.3 | — | — | |
| 都市水環境整備事業費 | 河川環境整備事業費 | 505.0 | 292.0 | 57.8 % | |
| (項)附帯工事費 | | 7.7 | 13.0 | 168.8 % | |
| 受託工事費 | | 482.0 | 158.8 | 32.9 % | |
| 海岸事業費 | 海岸事業調査費 | 80.0 | 83.8 | 104.8 % | |
| | 海岸維持管理費 | 221.0 | 271.0 | 122.6 % | |
| 災害復旧事業費 | 河川等災害復旧費 (多摩川過年災) | 138.3 | 0.0 | — | |
| 計 | | 9,713.8 | 9,447.9 | 97.3 % | |

平成20年度事業概要 補足資料

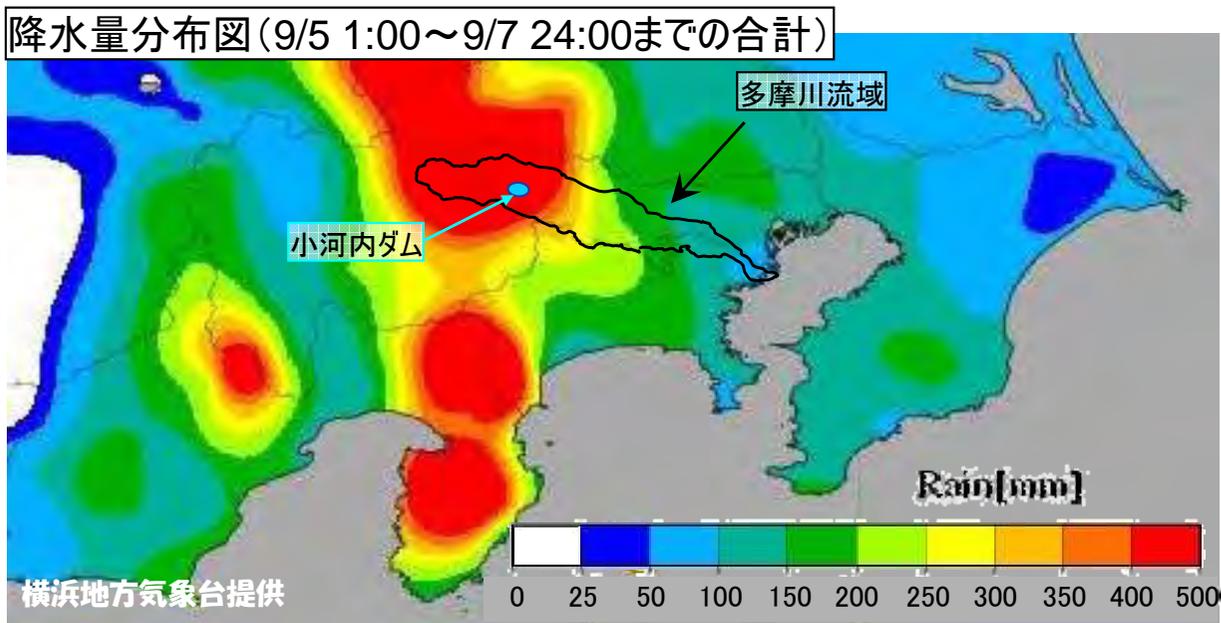
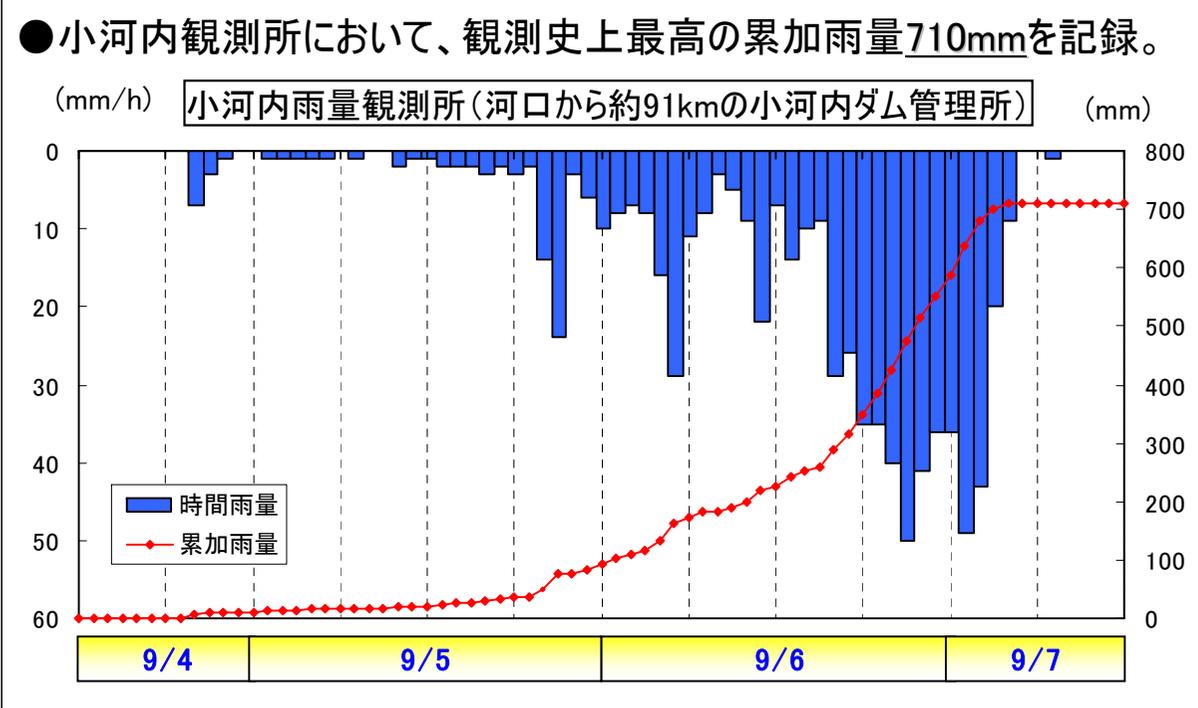
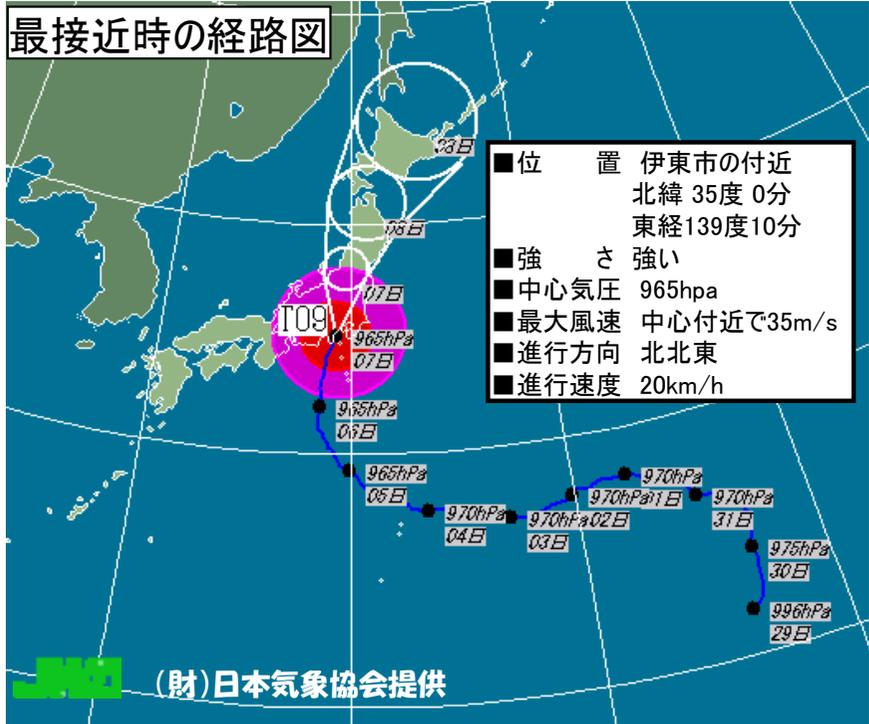
平成20年5月8日

国土交通省 関東地方整備局

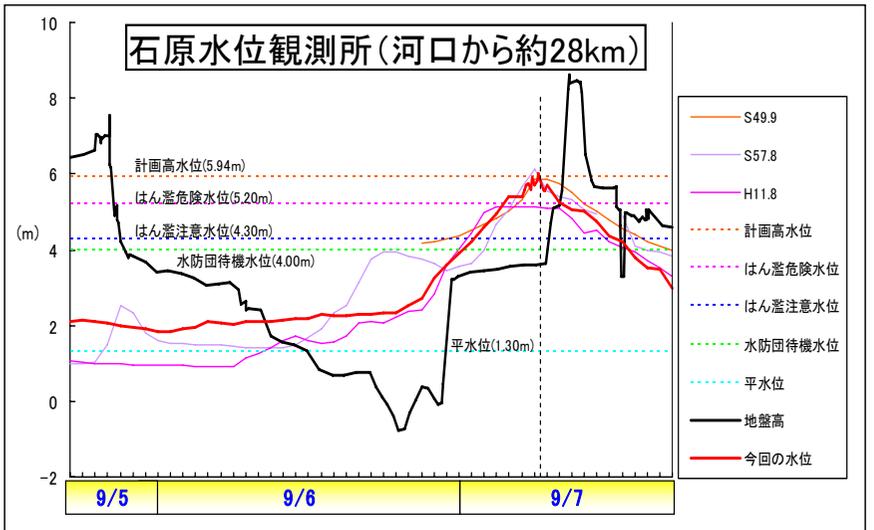
京浜河川事務所

平成19年9月台風9号による多摩川の出水概要

●台風9号の影響により、多摩川では1982年（昭和57年）以来の25年ぶりの大洪水



●今回石原水位観測所で記録したピーク水位(6.02m:9/7 6:20)は戦後2番目。



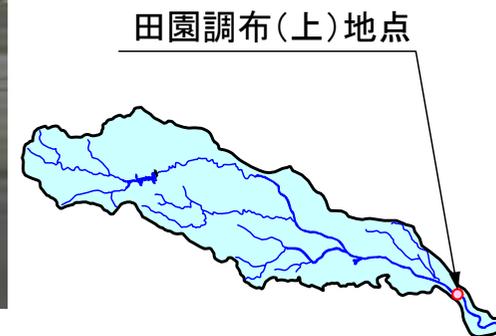
田園調布(上)-河口から約13.4km



通常時



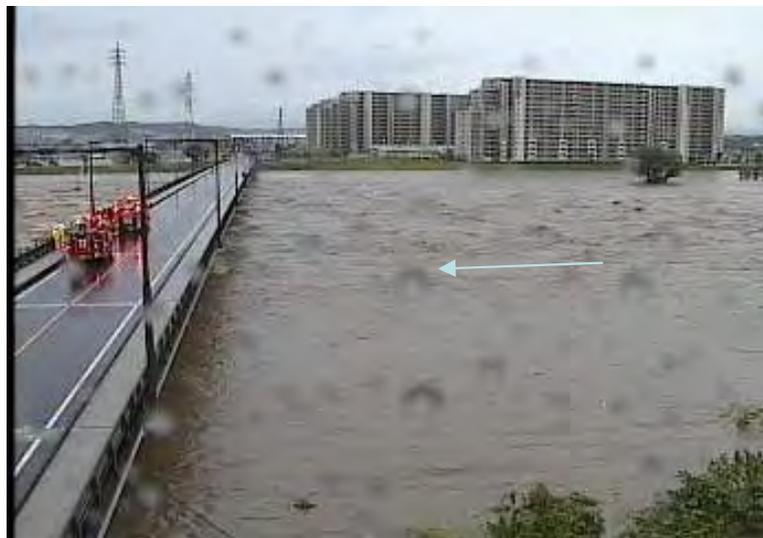
9/7 2:50



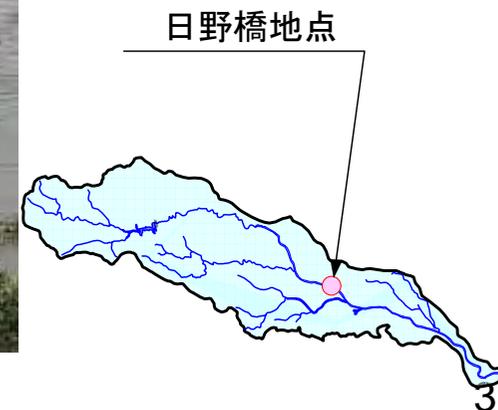
日野橋-河口から約39.9km



通常時



9/7 6:00



多摩川の課題：無堤部対策

二子玉川南地区無堤部解消プロジェクト



二子玉川南地区は、東京都23区内で唯一の無堤部（堤防が無い川の中）です。

近年の台風や頻発する集中豪雨による出水時の状況を考慮すると、この地区に暮らす皆様の生命と財産を守るため、早急に堤防の整備を推進します。

堤防整備イメージ



※ 現時点の整備イメージで最終的に異なる場合があります。



平成19年 台風9号の状況
(9/7 10時頃 二子玉川駅から)

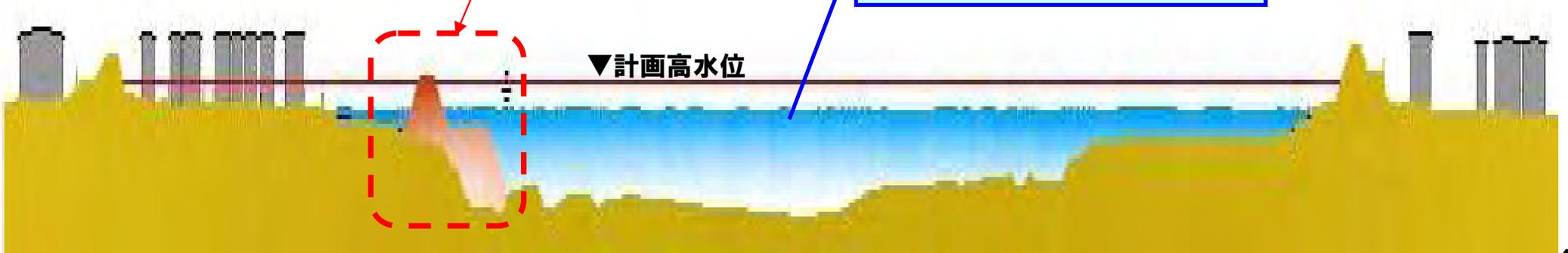
世田谷区側

洪水による浸水被害を防ぐ堤防を整備

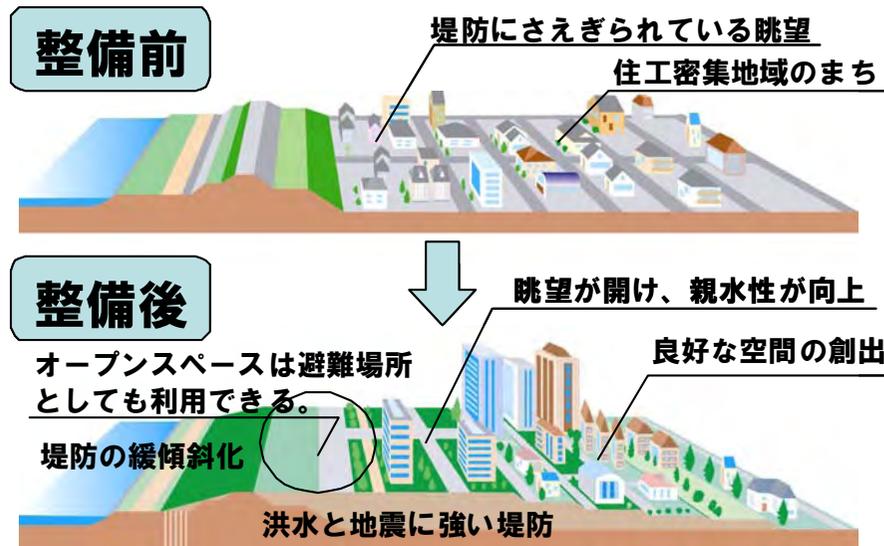
平成19年台風9号の最高水位

川崎市側

▼計画高水位



まちづくりと一体となって災害に強いスーパー堤防の整備 Keihin



下丸子地区 (東京都大田区)

H20.3.29撮影



戸手地区 (川崎市幸区)

H19.11.21撮影



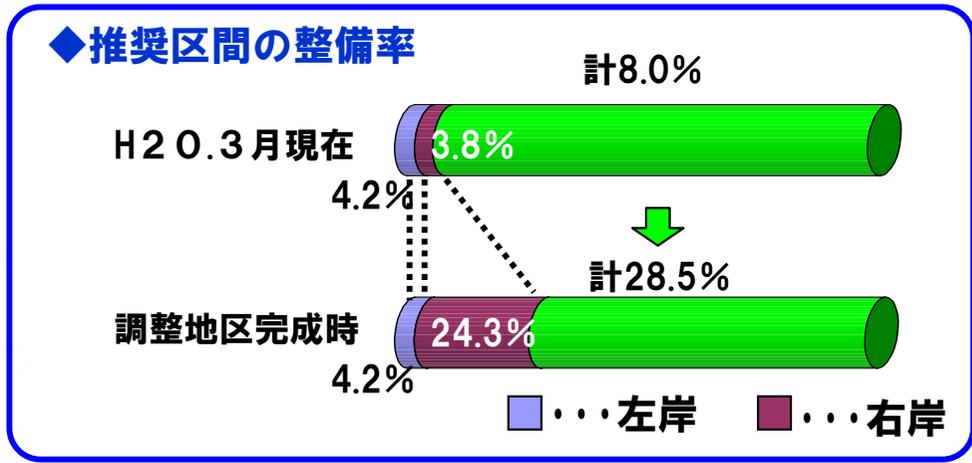
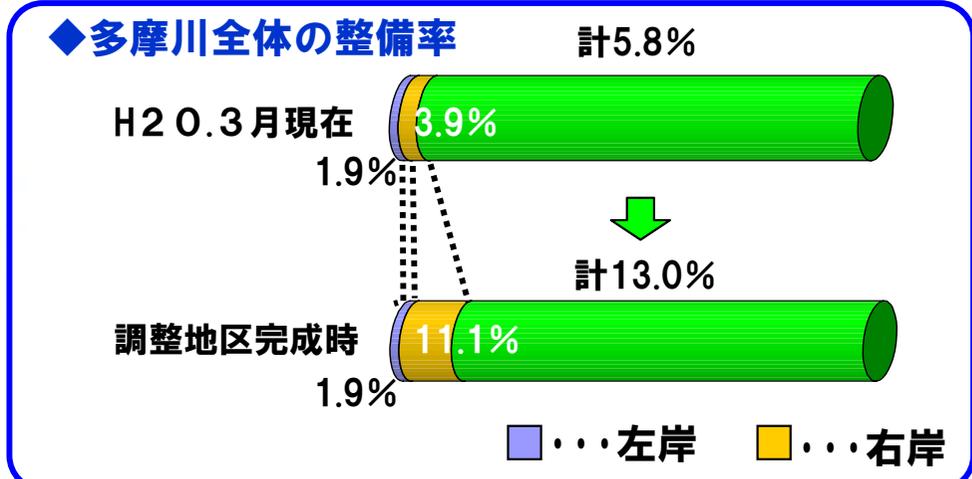
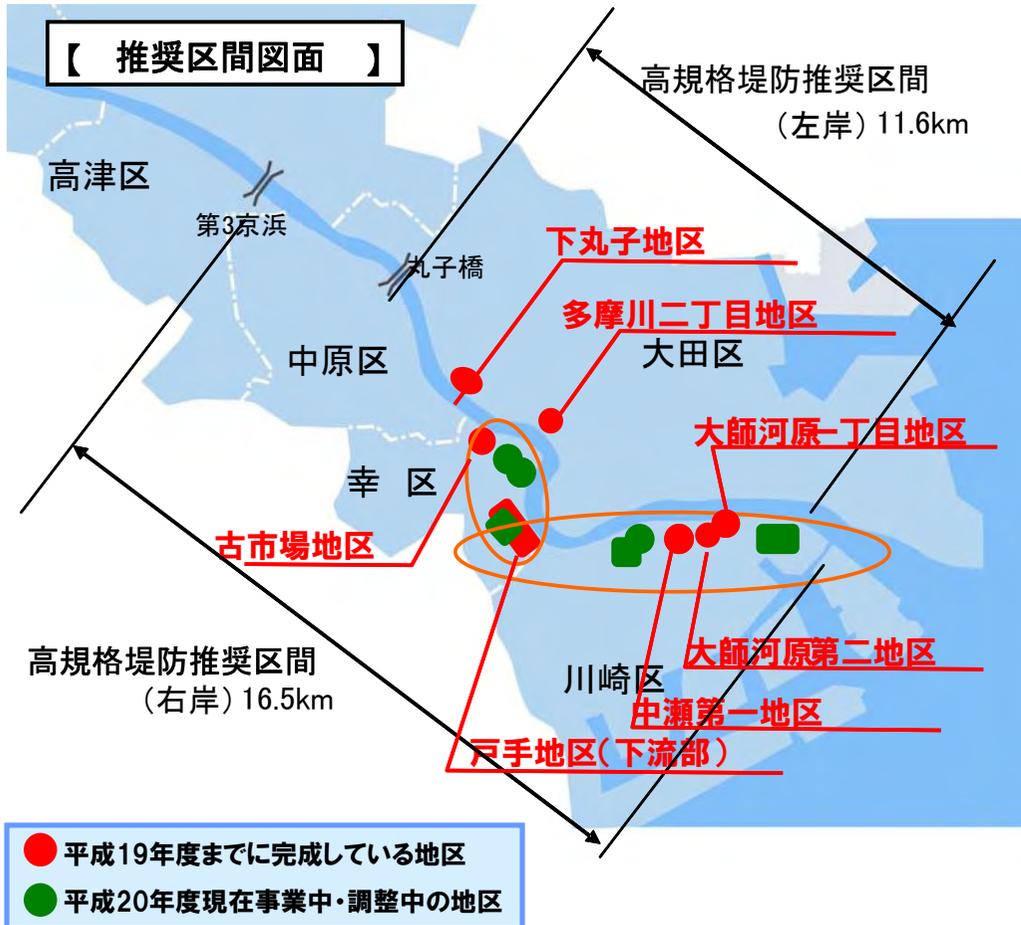
多摩川高規格堤防重点整備区間の状況

高規格堤防推奨区間(右岸側)の整備方針

高規格堤防推奨区間(重点整備区間)である多摩川右岸下流部においては、一連区間の完成を目指す。また、堤防強化(殿町、港町)、無堤部(戸手)の解消も併せて実施し、治水効果を高める。

高規格堤防推奨区間(左岸側)の整備方針

工場、事業所等の建替や再開発にあわせて事業化に向けた調整をすすめていく。また、地区計画等のまちのルールづくり、密集市街地の環境改善、防災性能向上のためのまちづくり、基盤整備事業の推進とあわせて事業化を図る。



多摩川不法係留対策

平成19年度に羽田地区で実施した行政代執行「第I期」の概要

- ・ 排除した対象物件（河川法に基づく簡易代執行を含む）
 - ① 船舶 10艇（不法行為者の自主的な撤去2艇を含む）
 - ② 棧橋 8基
 - ③ その他 17件（物置・コンテナ・ラック・重機など）
- ・ 実施日数 延べ16日間
（期間：平成20年2月19日（火）から3月11日（火）まで）
- ・ 従事人数 延べ 1,349名（平成20年3月7日（金）時点）
 - 国土交通省関係 562名（業務委託含む）
 - 請負業者 664名
 - 警察・海上保安関係 93名（蒲田警察署81名、東京水上警察署2名、海上保安庁10名）
 - 地方自治体関係 30名（大田区21名、東京都9名）



平成20年度は、昨年度に続き羽田地区において行政代執行「第Ⅱ期」の実施を予定しているとともに、六郷地区においても不法係留船対策を予定しています。

羽田地区

※  対象範囲内の不法係留船舶・棧橋等が対象となります。



行政代執行イメージ

六郷地区



鶴見川多目的遊水地 周辺航空写真



異物混入土写真

土壌無害化処理の経緯

- H11. 5～ 遊水地排水門建設工事に伴う掘削土にPCB等含有を確認。土壌、水質等の調査実施
- H11. 12 「鶴見川多目的遊水地土壌処理検討委員会」発足
- H12. 10. 30 第5回土壌処理検討委員会において、以下の3事項を決定
 - ①一時保管対策工の施工計画
 - ②モニタリング方針
 - ③無害化処理技術実証実験方法（3工法の絞り込み）
- H13. 2 「鶴見川多目的遊水地土壌処理モニタリング委員会」発足
- H13. 3～H14. 5 土壌対策一時保管工事（遮水構造を施した保管施設）
- H14. 4 「鶴見川多目的遊水地無害化処理技術評価委員会」発足
- H14. 6 ワールドカップ大会開催
- H15. 6 遊水地運用開始
- H17. 3～6 技術公募
- H17. 11. 16 確認実験技術（4工法）の選定
- H18. 8～9 確認実験の実施
- H18. 12. 18 確認実験評価委員会の開催（無害化処理4技術の有効性を確認）
- H19年度 横浜市と事前協議
- H20年度 土壌無害化処理工事契約（5年国債）

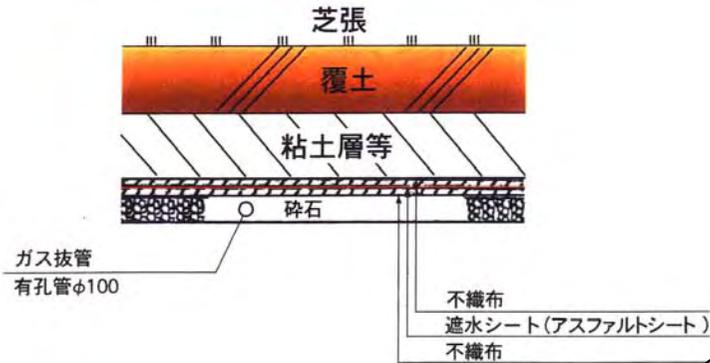
異物混入土の一時保管状況



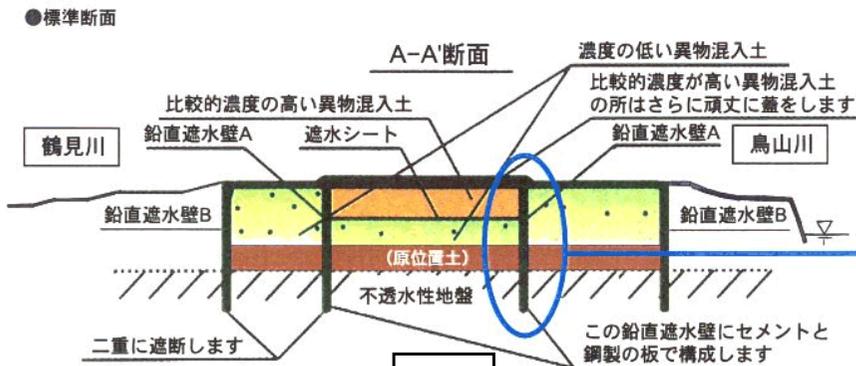
※1) 一時保管土A: PCBの含有量が10mg/kg以上、またはダイオキシン類の含有量が1,000pg-TEQ/g以上の異物混入土
 ※2) 一時保管土B: PCBの含有量が10mg/kg未満、且つダイオキシン類の含有量が1,000pg-TEQ/g未満の異物混入土

●キャッピング工A標準図

- 覆土 厚さ500mm
- 粘土層等 厚さ500mm
- 不織布 厚さ10mm
- 遮水シート(アスファルトシート) 厚さ3mm
- 不織布 厚さ20mm
- 砕石 厚さ300mm



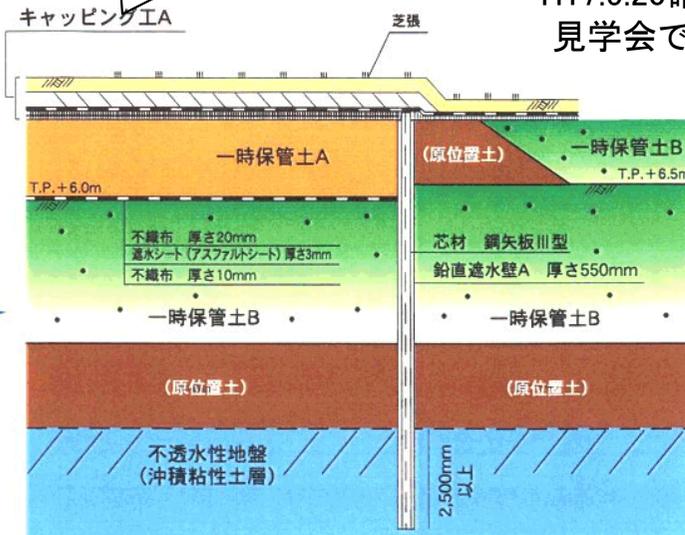
●鉛直遮水壁A標準断面図



凡例

比較的高い濃度の 一時保管土A 約5,500m³
 (PCBの含有量が10mg/kg以上、又はダイオキシン類の含有量が1,000pg-TEQ/g以上の異物混入土)

濃度の低い 一時保管土B 約95,000m³
 (PCBの含有量が10mg/kg未満、且つダイオキシン類の含有量が1,000pg-TEQ/g未満の異物混入土)

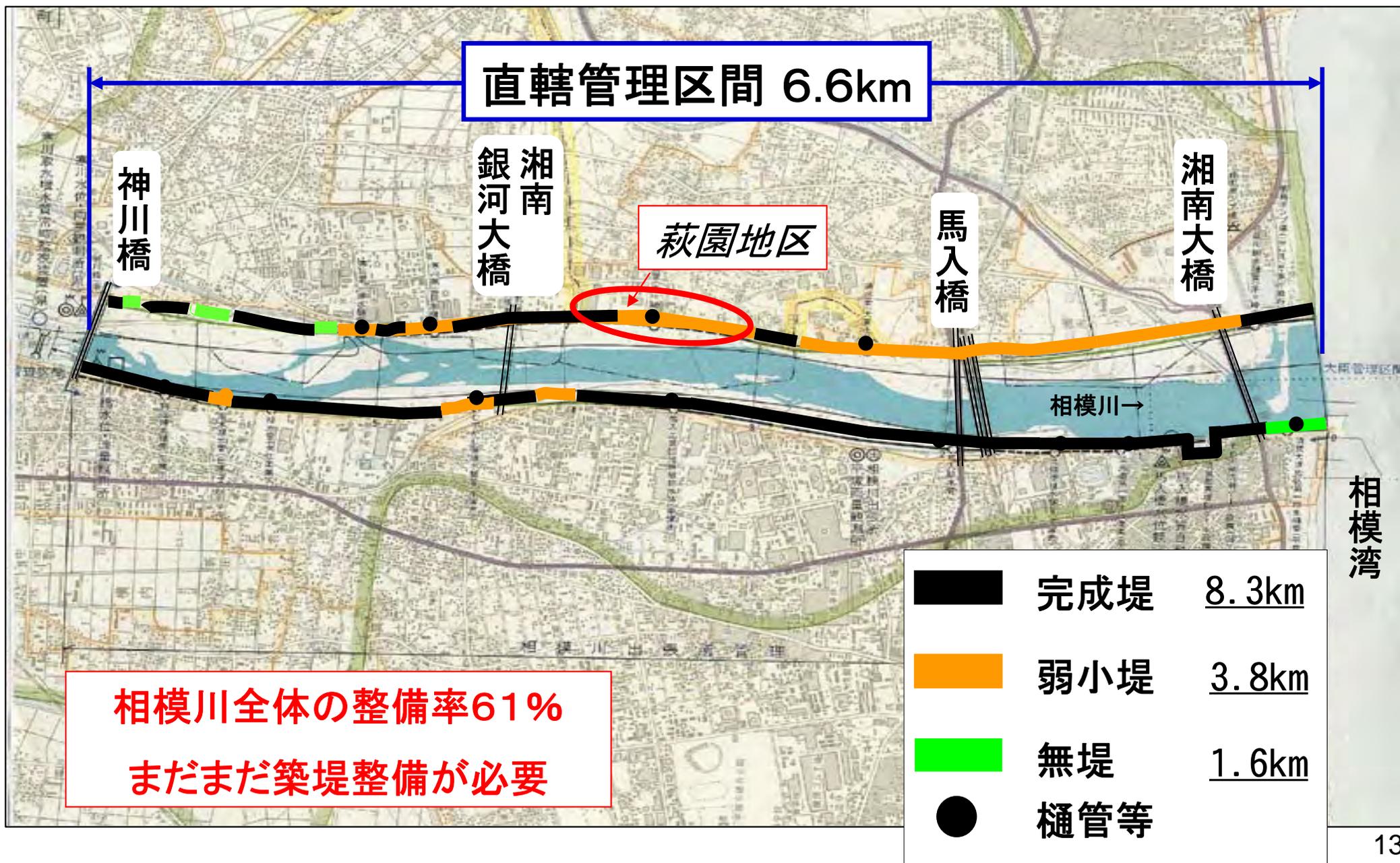


H17.5.20確認実験試料見学会での資料状況



環境学習フィールド整備予定箇所 (新羽町地区) の市民活動状況







○沖ノ鳥島の国土保全の充実と利活用策の検討

沖ノ鳥島は、我が国最南端の領土であり、周辺海域における我が国の国際法上の権利、すなわち国土面積を上回る約40万平方キロメートルの排他的経済水域の権利の基礎となる極めて重要な島である。このような国土保全・利活用の重要性に鑑み、国の直轄管理により十全な措置を講じるとともに、その前提の上に可能な利活用策を検討する。

沖ノ鳥島の適切な維持管理を図るため、護岸コンクリートの損傷について点検やひび割れの補修を行うとともに、潮位や波高などの気象・海象観測機器の点検及び補修等を行う。

また、サンゴの増殖等による島の保全対策とあわせ、島の保全や礁内・周辺海域の利活用に必要となる電力等の確保方策を引き続き検討する。



沖ノ鳥島によりもたらされる国土面積を上回る約40万平方キロメートルの排他的経済水域



沖ノ鳥島の全景

◎西湘海岸等の海岸保全計画立案に関する調査検討

西湘海岸は、汀線前面の海底勾配が急であり、高波が来襲しやすい地形となっている。これまでも海岸の侵食が進行していたが、平成19年9月の台風9号によって高波浪が来襲し、大規模な海岸侵食が生じた。このため、早急に海岸保全対策を講じ、さらなる海岸侵食の抑制を図っていくことが求められており、西湘海岸など全国各地で緊急に必要とされている海岸保全計画の立案に関する調査検討を実施する。





国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport, and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

1. 平成19年度 関東地方整備局関係補正予算の概要

平成19年度関東地方整備局関係補正予算として、1,288億円が追加されました。このうち、災害復旧関係は54億円です。

当該補正予算については、台風等による再度災害防止対策及び交通の安全確保対策等のため、緊急に必要な事業に重点的かつ効率的な配分を行うこととしています。具体的には、平成19年7月の台風4号、9月の台風9号等の豪雨による災害対策や、交通事故発生割合の高い区間における交通安全対策等に取り組みます。

平成19年度 補正予算総括表

【単位:億円】

| 区分 | 直轄 | 補助 | 計 | 計 | |
|-----------|------------|------------|--------------|--------------|------------|
| | | | | 歳出予算 | ゼロ国債※ |
| 治山治水 | 392 | 49 | 441 | 381 | 60 |
| 道路整備 | 353 | 301 | 653 | 573 | 80 |
| 港湾 | 30 | 15 | 44 | 20 | 24 |
| 空港 | 5 | — | 5 | — | 5 |
| 下水道 | — | 42 | 42 | 9 | 33 |
| 都市公園 | 4 | 22 | 26 | 8 | 18 |
| 官庁営繕 | 23 | — | 23 | 23 | — |
| 合計 | 805 | 429 | 1,234 | 1,013 | 221 |
| 災害復旧等 | 54 | — | 54 | 54 | — |
| 再計 | 859 | 429 | 1,288 | 1,067 | 221 |

注)端数整理のため、合計が合わない場合があります。

※国庫債務負担行為(ゼロ国債)については、公共事業の円滑かつ効率的な執行を図るため、事業の平準化を推進しています。

【参考】

平成19年度 国土交通省関係補正予算配分額 総計:5,781億円

〔 一般公共事業費 5,688億円(うちゼロ国債 2,471億円)
官庁営繕費 93億円 〕

2. 平成19年度京浜河川事務所補正予算のポイント

1) 概要

本補正予算により、平成19年に発生した台風9号などに係る再度災害防止と危機管理対策の強化を推進します。

特に出水による浸水・河岸浸食の防御のための事業、堤防の質を高め安全性を確保するための強化対策、防災船着場等の危機管理施設の整備を着実に進めます。

2) 主要事業

【東京都】

- ① たまがわしんしょくたいさくじぎょう 多摩川浸食対策事業（立川市）
- ② にかりょうかみがわらせきたいさくかんれんじぎょう 二ヶ領上河原堰対策関連事業（調布市）
- ③ あさかわすいしょうぶたいさくじぎょう 浅川水衝部対策事業（日野市）

【神奈川県】

- ① にかりょうかみがわらせきたいさくかんれんじぎょう 二ヶ領上河原堰対策関連事業（川崎市）
- ② とのまちちく 殿町地区（第一） こうきかくていぼうじぎょう 高規格堤防事業（川崎市）
- ③ つるみがわごまおかぼうざいふなつきばせいびじぎょう 鶴見川駒岡防災船着場整備事業（横浜市）
- ④ さがみがわちくていじぎょう 相模川築堤事業（茅ヶ崎市）

たまたがわしんしよくたいざくじぎょう
多摩川浸食対策事業

H19補正事業費：240百万円

立川市

1. 事業の必要性及び概要

多摩川は、首都圏を流れる河川の中でも勾配が急な河川であり、これまでも多くの河岸浸食被害が発生しています。特に洪水時の速い流れに対し安全性が不足している箇所では、堤防本体まで浸食がおよび、決壊による甚大な浸水被害が発生しかねません。平成19年台風9号出水では水位が著しく上昇し、非常に危険な状況となりました。

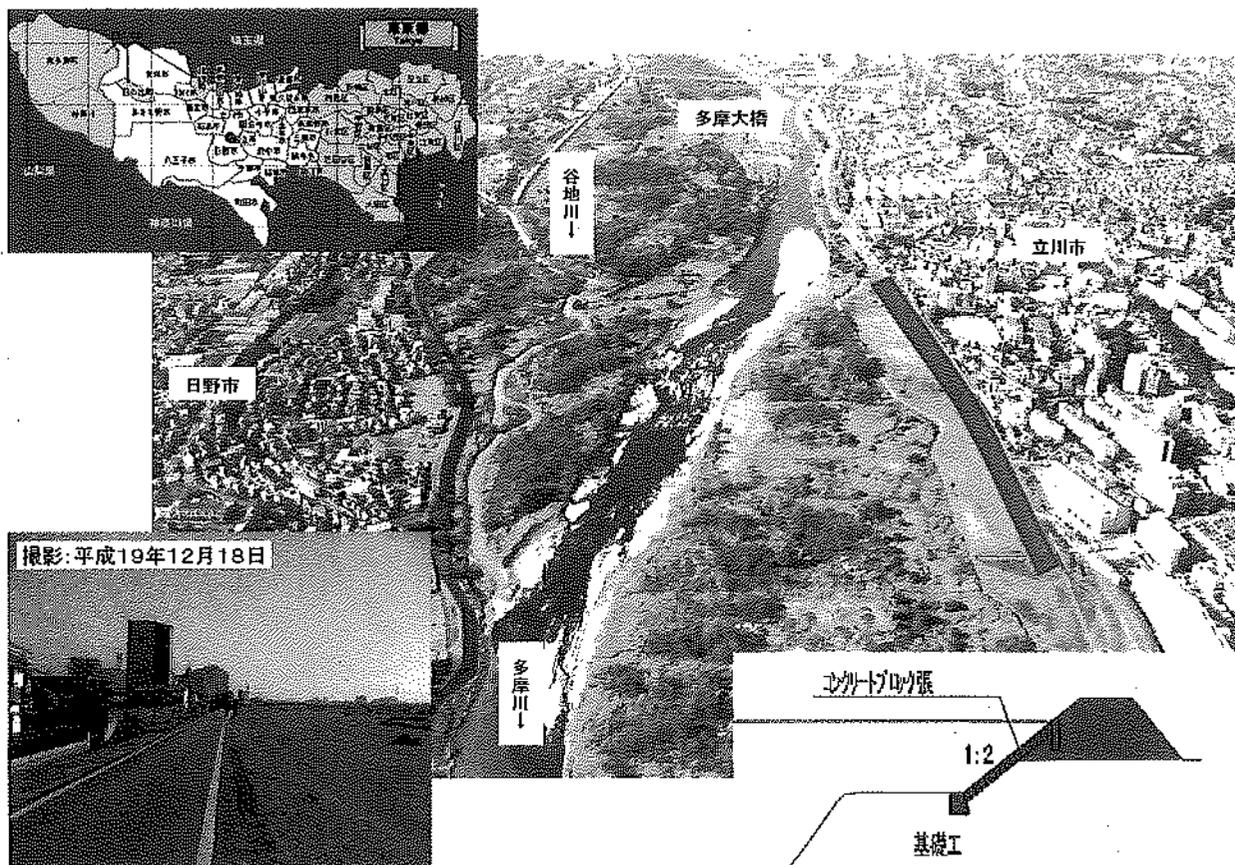
以上のことから、多摩川左岸立川市富士見町地先において洪水に耐える護岸を整備し、併せて築堤による堤防の高さ不足の解消を図ります。

事業箇所：東京都立川市富士見町地先
 事業内容：L=800m（築堤工・高水護岸工）
 全体工期：平成19年度～平成20年度
 全体事業費：240百万円

2. 期待される整備効果

築堤および高水護岸の整備を行うことにより、洪水に対する地域の安全性の向上が図られます。

3. 位置図及び概要図



二ヶ領上河原堰対策関連事業

H19補正事業費：390百万円

調布市、川崎市

1. 事業の必要性及び概要

多摩川の石原～上河原堰の区間は、多摩川において最も流下能力が不足している箇所、平成19年9月台風9号出水において、石原基準水位観測所で計画高水位を超えたため、早急な対策が必要です。

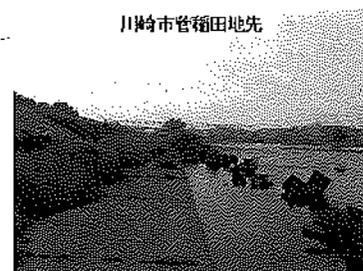
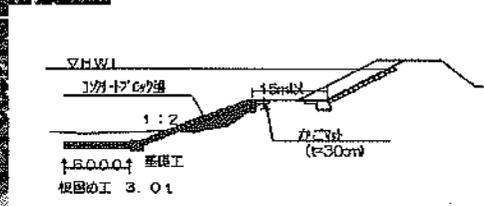
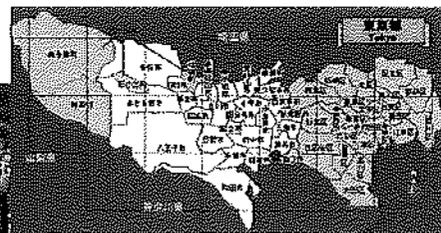
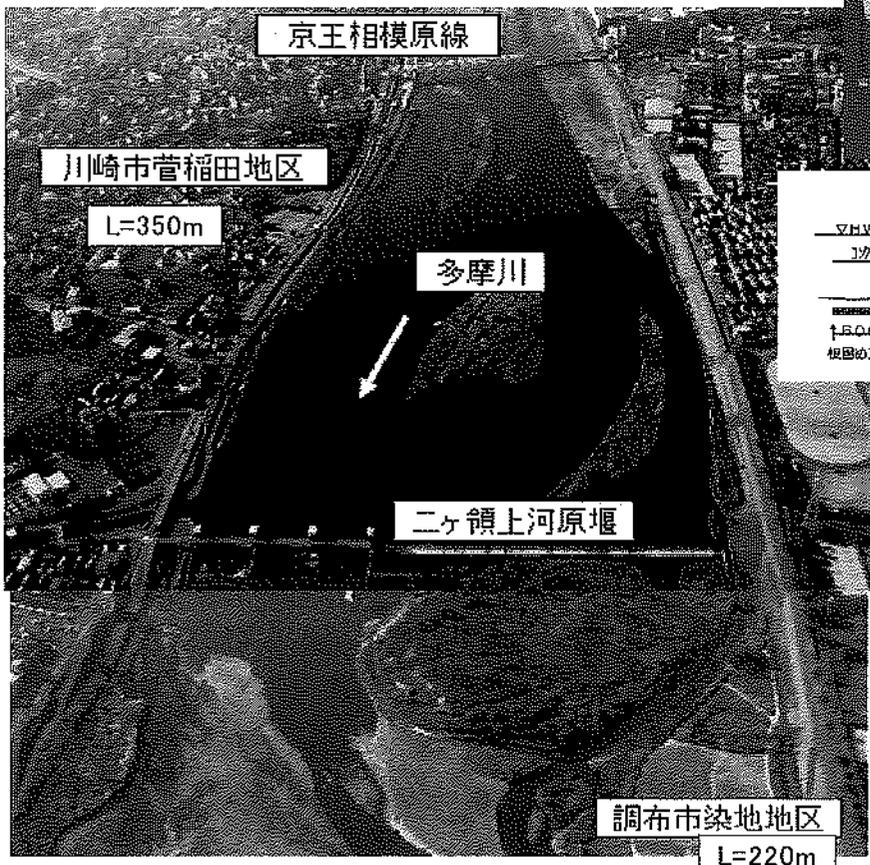
当該区間の二ヶ領上河原堰の改修に合わせて、堤防の安全性を確保し浸食による被災を防止するため、低水護岸を実施します。

事業箇所：東京都調布市染地地先、神奈川県川崎市多摩区菅稲田堤地先
事業内容：低水護岸工 (L=220m、350m)
全体工期：平成19年度～平成20年度
全体事業費：390百万円

2. 期待される整備効果

低水護岸の整備を行うことにより、洪水に対する地域の安全性の向上が図られます。

3. 位置図及び概要図



あさかわすいしやうぶたいさくじぎやう
浅川水衝部対策事業

H19補正事業費：210百万円

日野市

1. 事業の必要性及び概要

浅川は、川幅が狭く急流河川であるため洪水時の流れが速く、これまで堤防浸食被害が多数発生しており、平成19年9月出水においても浸食被害が発生しています。特に滞筋が堤防際に寄っていて洪水時の高速流が堤防際を流れる箇所では、浸食が堤防までおよび、決壊等の重大な災害につながる恐れがあります。

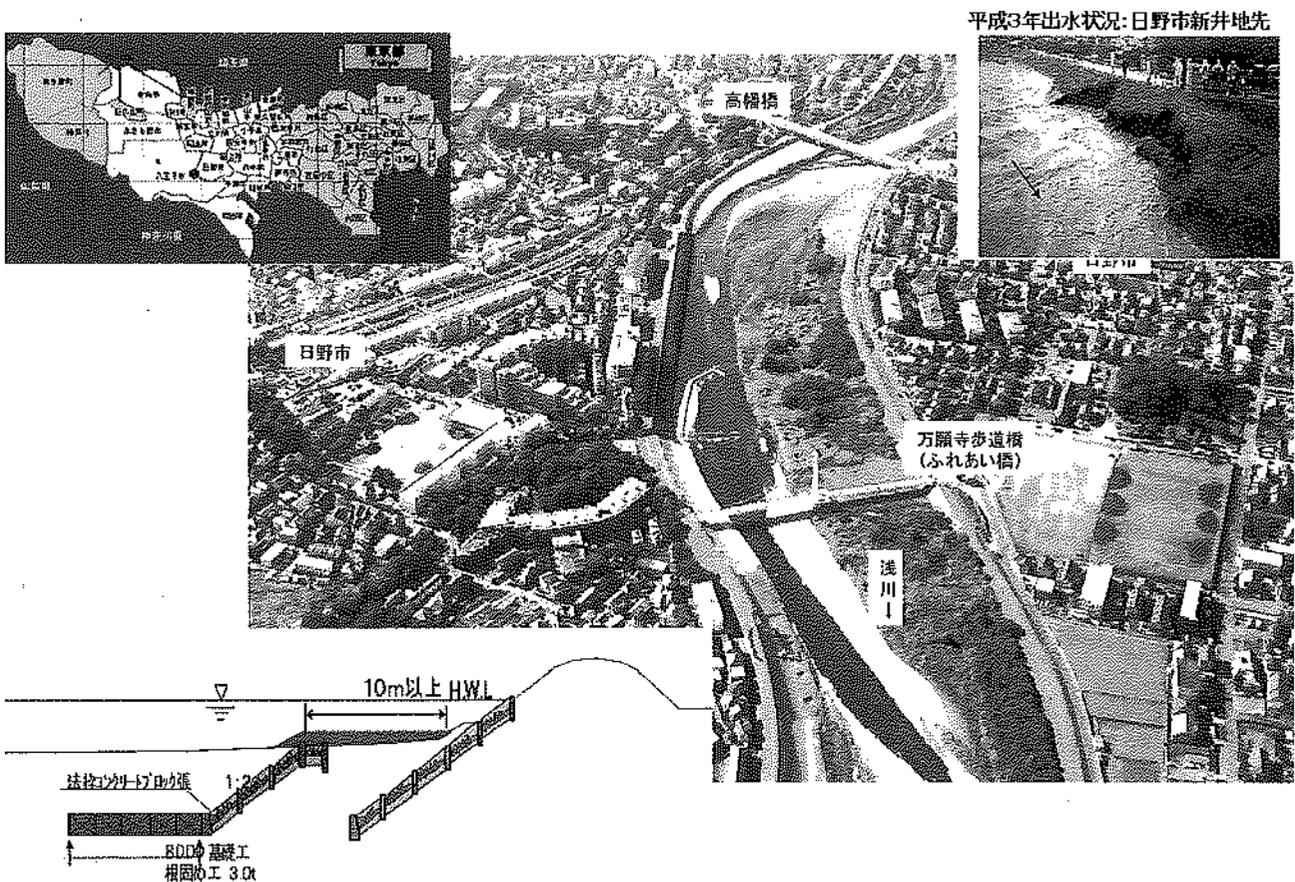
このような箇所を対象に、堤防の安全性を確保し浸食による被災を防止するため、低水護岸等の水衝部対策を実施します。

- とくまやうとひのしたかはたちさき
事業箇所：東京都日野市高幡地先
事業内容：低水護岸工（L=300m）
全体工期：平成19年度～平成20年度
全体事業費：210百万円

2. 期待される整備効果

低水護岸の整備を行うことにより、洪水に対する地域の安全性の向上が図られます。

3. 位置図及び概要図



平成3年出水状況：日野市新井地先

とのまちちく(だいいち)こうきかくていぼうじぎょう
殿町地区(第一)高規格堤防事業
 H19補正事業費：234百万円

川崎市

1. 事業の必要性及び概要

多摩川沿川においては、都市再生の動きにあわせ「防災に強いまちづくり」を目指し、高規格堤防事業をすすめています。殿町地区においては、都市再生機構の土地有効利用事業との共同事業として高規格堤防の整備を行います。

○全体計画

事業箇所：神奈川県川崎市川崎区殿町三丁目地先
 延長：L = 655m
 事業内容：高規格堤防整備
 全体工期：平成19年度～平成21年度(予定)
 全体事業費：約700百万円

2. 補正予算による実施予定

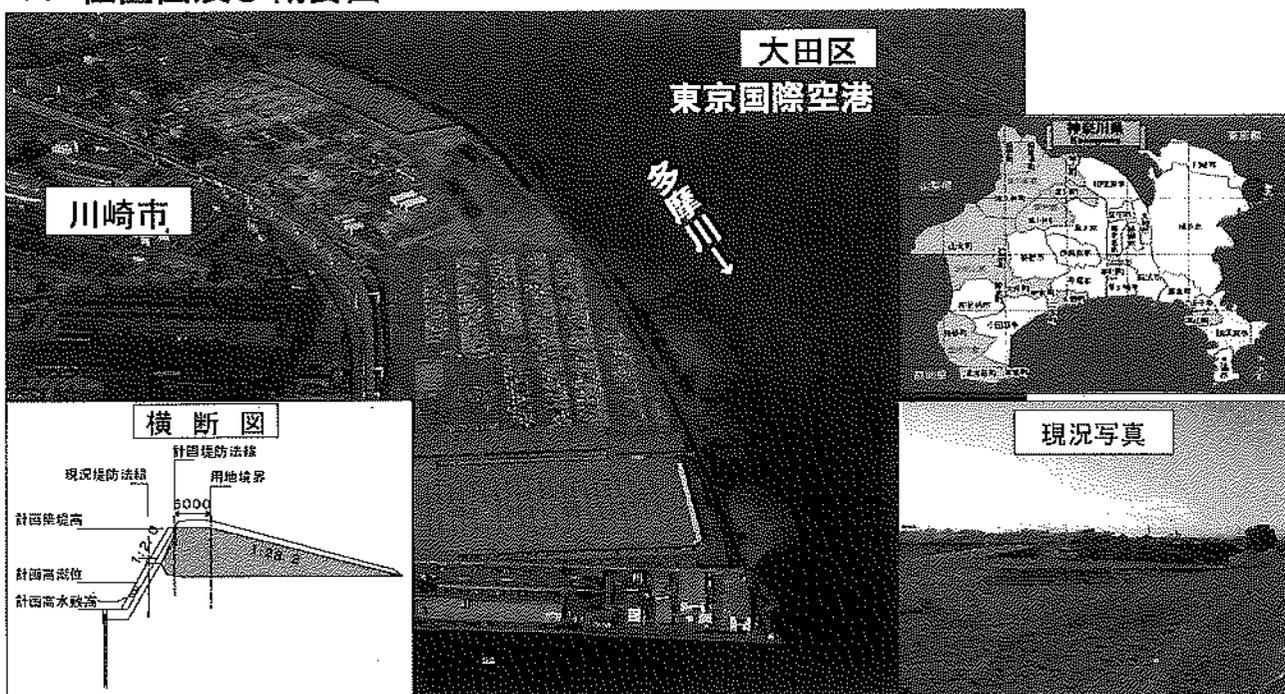
高規格堤防整備L = 370mを実施します。

3. 期待される整備効果

高規格堤防の堤防盛土を延伸することにより、大洪水による壊滅的な被害の発生を防止することができます。

殿町地区は都市再生緊急整備地域に指定され、塩浜地区周辺整備構想に基づく都市整備により、安全でゆとりとうるおいのある新たな都市空間が創出されます。

4. 位置図及び概要図



つるみがわこまおかほうさいふなつきばせいびじぎょう
鶴見川駒岡防災船着場整備事業

H19補正事業費：300百万円

よこはまし
横浜市

1. 事業の必要性及び概要

市街化が進行した鶴見川流域では、災害時の緊急輸送路・拠点などの防災機能が重要となっています。そのため、河川空間を活用した、防災機能を確保し、震災など大規模な災害発生時に、緊急物資や資機材の輸送や救助活動等に有効な水上交通を可能にする防災船着場の整備を行います。

○全体計画

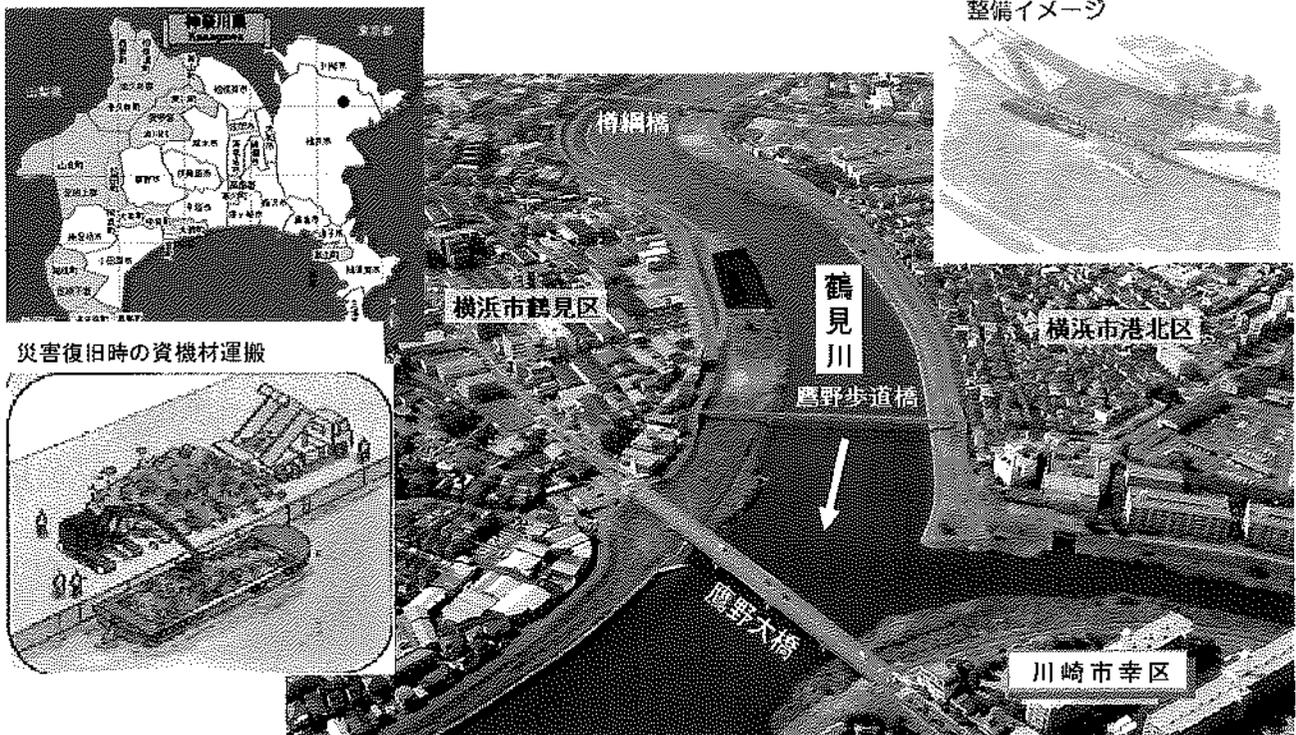
かながわけんよこはましつるみくこまおかしき
事業箇所：神奈川県横浜市鶴見区駒岡地先
事業内容：防災船着場
全体工期：平成19年度～平成20年度
全体事業費：300百万円

2. 補正予算による実施予定
防災船着場を整備します。

3. 期待される整備効果

水上交通を活用した、緊急物資や資機材などの輸送が可能となり、鶴見川沿川の災害時の防災機能が向上し、円滑な災害復旧活動の実施が可能となります。

4. 位置図及び概要図



さがみがわちくていじぎょう
相模川築堤事業
H19補正事業費：111百万円

茅ヶ崎市

1. 事業の必要性及び概要

相模川の左岸は無堤部・弱小堤防が多く残されています。平成19年9月の台風9号時には平塚市、茅ヶ崎市、寒川町において約20,000世帯に避難勧告が出されるなど非常に危険な状態であり、早期の改修が望まれています。このため、無堤部等での築堤を行います。

○全体計画

事業箇所：神奈川県茅ヶ崎市萩園地先
事業内容：築堤（L=780m）
全体工期：平成18年度～平成20年度
全体事業費：約360百万円

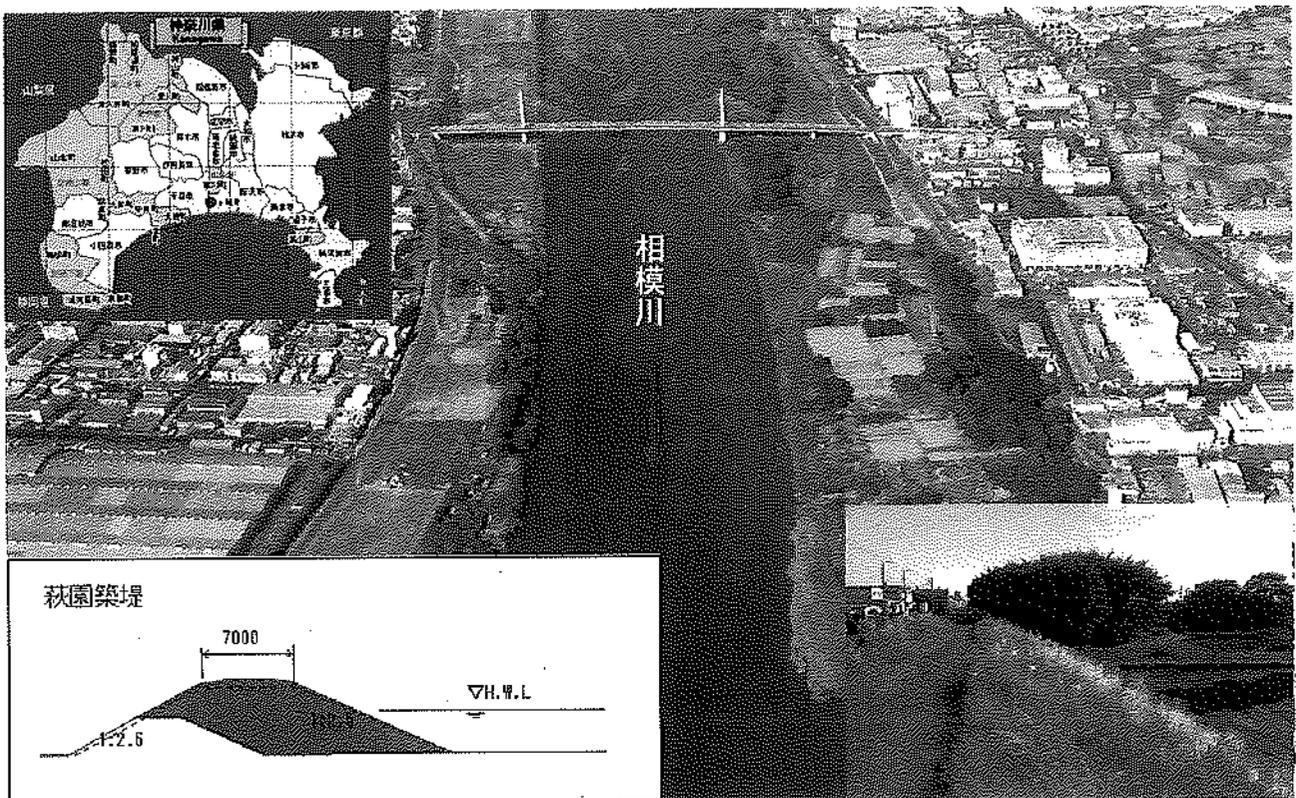
2. 補正予算による実施予定

相模川左岸萩園地区において築堤約L=200mを整備します。

3. 期待される整備効果

地域の浸水被害の解消が図られ、洪水に対する安全性が向上します。

4. 位置図及び概要図



平成21年度
京浜河川事務所事業概要
記者発表資料

京浜河川事務所は、多摩川、鶴見川、相模川及び沖ノ島の3河川1島を管理している事務所です。

当事務所では、増加傾向にある集中豪雨等を踏まえ、水害を未然に防止し、流域の皆様の安全、安心を確保するため、河川構造物や河川堤防の強化、防災拠点などのハード面での対策の他、防災情報の提供などのソフト対策に取り組んでいます。

また、快適で豊かな河川環境を提供し、地域の皆様に気楽に水辺を楽しんで頂くために自然再生、美しい水循環の保全などの環境整備事業、河川空間内のバリアフリー化等を推進しています。

平成21年度の主要事業は次のとおりです。

- | | | |
|-----|-------------|----------------|
| 多摩川 | ： 堰の改築 | (二ヶ領上河原堰改築) |
| | 無堤部の解消 | (二子玉川南地区) |
| | 堤防の安全性向上 | (堰1丁目地区) |
| | 高規格堤防の整備 | (港町地区、東古市場地区) |
| 鶴見川 | ： 流下能力の向上 | (潮見橋架替、河道掘削) |
| | 土壌無害化处理 | (鶴見川多目的遊水地) |
| | 堤防補強 | (駒岡5丁目地区) |
| 相模川 | ： 無堤・弱小堤の解消 | (萩園地区他) |
| | 河川利用の推進 | (馬入地区ふれあい施設整備) |
| | 堤防の維持管理 | (堤防除草) |

平成21年4月16日

国土交通省 関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所

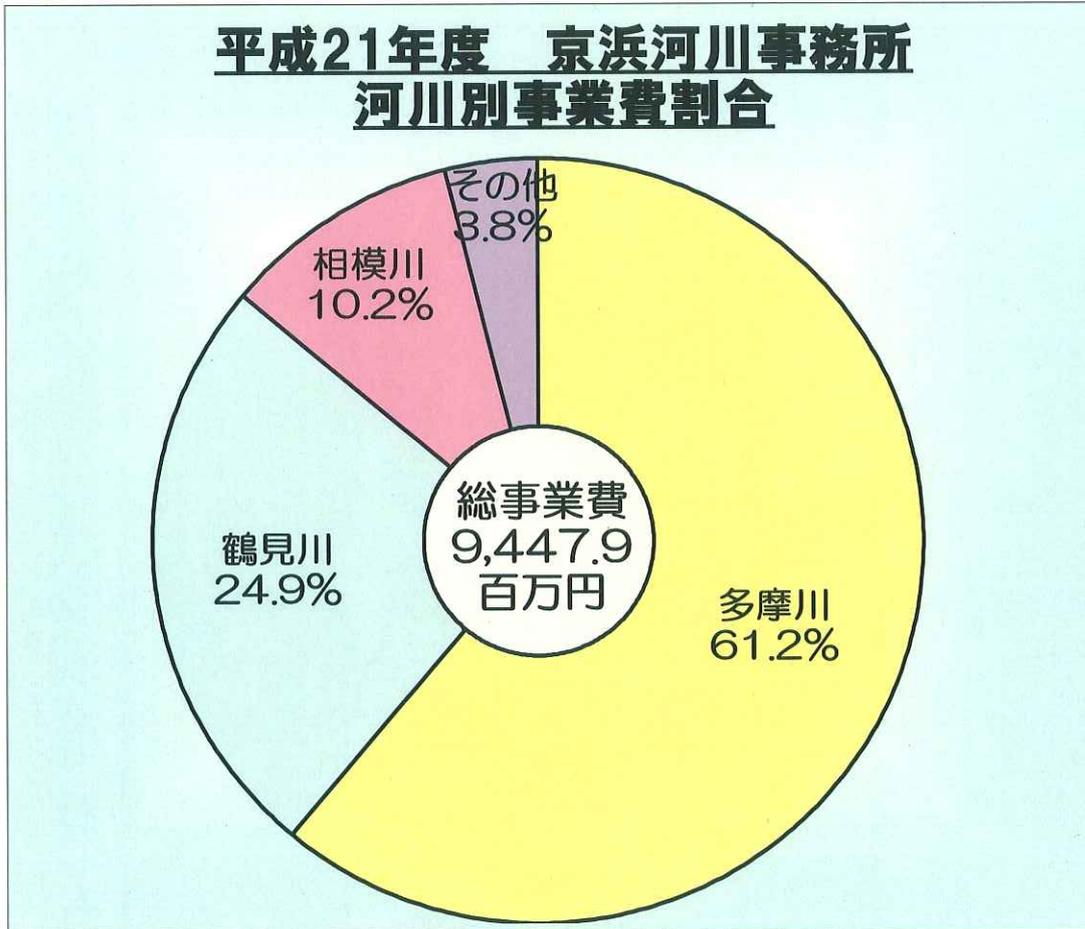
発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 京浜河川事務所
副 所 長 山口 充弘 045-503-4000(代表)
計 画 課 長 伊藤 和彦 045-503-4091(直通)

平成21年度 京浜河川事務所予算概要(参考)



平成21年度 京浜河川事務所予算概要

| 予算項目 | | 事業費(百万円) | | 対前年度比 | | |
|--|-------------------------------------|----------------------|------------------|-------|---|--|
| | | 前年度事業費(当初) 平成20年度 | 今年度事業費 平成21年度 | | | |
| 河川整備事業費 <small>※河川都市基盤整備事業費含む</small> | 河川改修関係 | 6,581.0 | 6,896.0 | 104.8 | % | |
| | ・一般河川改修 ※ | 3,086.0 | 3,410.0 | 110.5 | % | |
| | ・特定河川改修 ※ | 1,821.0 | 1,886.0 | 103.6 | % | |
| | ・高規格堤防整備 ※ | 1,674.0 | 1,600.0 | 95.6 | % | |
| | <small>※ 河川都市基盤整備事業費を含んだ事業費</small> | | | | | |
| | 河川維持修繕費 | 1,659.3 | 1,703.3 | 102.7 | % | |
| | 河川工作物関連応急対策事業費 | 32.6 | 30.0 | 92.0 | % | |
| | 河川事業調査費 | 3.6 | - | - | % | |
| | 河川総合開発事業調査費 | 3.3 | - | - | % | |
| 都市水環境整備事業費 | 河川環境整備事業費 | 505.0 | 292.0 | 57.8 | % | |
| (項) 附帯工事費 | | 7.7 | 13.0 | 168.8 | % | |
| 受託工事費 | | 482.0 | 158.8 | 32.9 | % | |
| 海岸事業費 | 海岸事業調査費 | 80.0 | 83.8 | 104.8 | % | |
| | 海岸維持管理費 | 221.0 | 271.0 | 122.6 | % | |
| 災害復旧事業費 | 河川等災害復旧費 (多摩川 過年災) | 138.3 | 0.0 | - | % | |
| 計 | | 9,713.8 | 9,447.9 | 97.3 | % | |

多摩川 一般河川改修事業(二ヶ領上河原堰改築)

にかりょう かみがわらせきかいちく

H21事業費:261百万円

神奈川県川崎市多摩区
東京都調布市

1. 事業の必要性及び概要

現在の堰構造(昭和46年改築)は可動部と固定部が混在し、固定部の上流側には大量の土砂が堆積し、洪水を安全に流下させる能力は低下している。このため、固定部を切り下げ かつ起伏ゲートを設置し、可動堰に改築する。これにより、流下能力を向上させるとともに、土砂をスムーズに流下させ土砂堆積を抑制する。

○ 全体計画

事業箇所:神奈川県川崎市多摩区・東京都調布市

事業内容:起伏ゲートの設置、低水護岸、河道掘削、用地補償

全体工期:平成18年度～平成25年度(予定)

2. 平成21年度の予定

固定堰部の切り下げ

3. 期待される整備効果

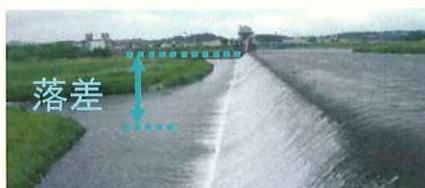
堆積した土砂の除去と堰の機能向上により、流下能力の確保が図られ、洪水に対する地域の安全性が向上する。

4. 位置図及び概要図

概要図等



固定部の現状



改築後のイメージ



平成19.9.7台風9号出水

多摩川 一般河川改修事業(二子玉川南地区)

ふたこたまがわみなみちく

H21事業費:420百万円

東京都世田谷区

1. 事業の必要性及び概要

二子玉川南地区は多摩川下流部左岸側唯一の無堤地区であるが、堤外地に約740世帯の住宅が存在する。早期に治水安全度を高めるため、段階的に堤防の整備を行う。

○ 全体計画

事業箇所:東京都世田谷区

事業内容:築堤護岸L=850m

全体工期:平成18年度～平成21年度(予定)

全体事業費:約21億円

2. 平成21年度の予定

築堤護岸等の整備

3. 期待される整備効果

多摩川下流部左岸側唯一の無堤地区が解消され、安全なまちづくりに大きく貢献する。

4. 位置図及び概要図



多摩川 一般河川改修事業(水衝部対策 せき ちょうめちく 堰1丁目地区)

H21事業費:252.6百万

神奈川県川崎市高津区

1. 事業の必要性及び概要

多摩川には、洪水時に堤防が侵食され重大な被害が発生するおそれのある箇所が多い。滞筋が堤防に近接している水衝部の対策として、低水護岸等の整備を行う。

○ 全体計画

事業箇所:神奈川県川崎市高津区

事業内容:低水護岸整備、用地補償

全体工期:平成19年度～平成21年度(予定)

2. 平成21年度の予定

用地補償、低水護岸整備

3. 期待される整備効果

堤防の安全性を向上させ、洪水に対する地域の安全・安心を確保する。

4. 位置図及び概要図

概要図等



多摩川 高規格堤防整備事業(港町地区)

みなとちょうちく

H21事業費:742百万円

神奈川県川崎市川崎区

1. 事業の必要性及び概要

多摩川沿川は人口・資産が集中しており、一たび洪水氾濫が起きた場合には壊滅的な被害となることから、都市再生にあわせ災害に強いまちづくりの一環として、高規格堤防整備事業を推進している。

港町地区では、民間開発と共同で高規格堤防を整備し、良好な水辺区間、都市空間の形成及び災害に強いまちづくりを実現する。

○ 全体計画

事業箇所:神奈川県川崎市川崎区港町地先

事業内容:盛土量32千m³、面積約3.8ha

全体事業費:約18億円

2. 平成21年度の予定

高規格堤防盛土、護岸の整備等

3. 期待される整備効果

災害に強く、河川と都市空間が調和した良好な生活環境の形成が図られる。

4. 位置図及び概要図



多摩川 ひがしふるいちばちく 高規格堤防整備事業(東古市場地区)

H21事業費:723百万円

神奈川県川崎市幸区

1. 事業の必要性及び概要

川崎市が計画している都市公園の再整備(リフレッシュパーク事業)の実施される御幸公園において、公園再整備に併せ高規格堤防の整備を行い、公園と河川の利用の一体化による良好な都市空間の形成及び災害に強いまちづくりを実現する。

○ 全体計画

事業箇所:神奈川県川崎市幸区東古市場地先

事業内容:盛土 25千m³、道路切り回し 490m

全体工期:平成19年度～平成22年度

全体事業費:約20億円

2. 平成21年度の予定

道路ボックスカルバート(沿線道路)60m、建物補償

3. 期待される整備効果

災害に強く、河川と都市空間が調和した良好な生活環境の形成が図られる。

4. 位置図及び概要図



鶴見川総合治水特定河川改修事業 しおみばしかけかえ（よこはましせこう）（潮見橋架替（横浜市施工））

H21事業費：323百万円

神奈川県 横浜市 鶴見区

1. 事業の必要性及び概要

鶴見川流域の約7割は起伏した丘陵、台地であり、住宅需要の急増とあいまって急激に開発が進み、流域が本来有していた保水、遊水機能が損なわれたと指摘されている。そのため、鶴見川は総合治水特定河川として指定され、中・下流部の大規模浚渫や多目的遊水地の整備、下流部の築堤等の河川改修を行ってきており、現在は下流部で洪水流下の妨げになっている潮見橋の架替事業等を横浜市と共同で実施している。

○ 全体計画

事業箇所：神奈川県横浜市鶴見区

事業内容：潮見橋架替

全体工期：平成14年度～平成22年度（予定）

全体事業費：約35億円（河川負担分）

2. 平成21年度の予定

橋梁上部工、仮橋撤去

3. 期待される整備効果

橋梁の架け替えにより、流下能力が向上する。

4. 位置図及び概要図

概要図等



鶴見川総合治水特定河川改修事業 (河道掘削)

かどうくっさく

H21事業費:1311百万円

神奈川県 横浜市 鶴見区

1. 事業の必要性及び概要

鶴見川においては、戦後最大降雨である昭和33年の狩野川台風規模相当の洪水流量を安全に流下させることを目的として、河口から矢上川合流点(-0.2k~7.0k)までの間の河道掘削を行っている。

平成21年度は潮鶴橋から芦穂橋間の河道掘削を行う。

事業箇所:鶴見川 1.8km付近

事業内容:河道内掘削工事

予定工期:平成19年度~平成25年度 (1k~3k区間)

事業費:約38億円 (1k~3k区間)

2. 平成21年度の予定

河道内掘削工事(約8万m³)を実施

3. 期待される整備効果

洪水に対する流下能力の向上

4. 位置図及び概要図

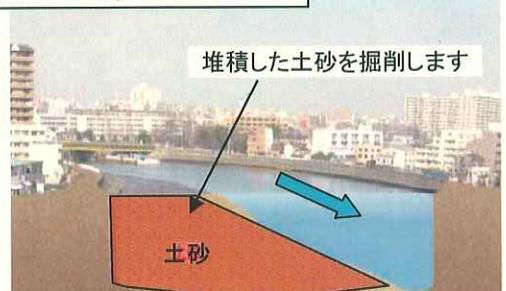


■ H20施工 ■ H21実施予定

土砂堆積状況 (芦穂橋より下流を望む)



土砂堆積状況イメージ



鶴見川多目的遊水地土壌対策(無害化处理)

神奈川県横浜市港北区

1. 事業の必要性及び概要

鶴見川多目的遊水地の建設事業において、地中にPCB及びダイオキシン類等を含む異物混入土が確認されたため、学識経験者等による委員会を設置して、安全な処理方法の検討を進めてきた。検討結果を受け、平成20年度に5年間の工期として処理対策に着手した。今年度も継続的に横浜市と共同で土壌無害化处理を実施する。

○ 全体計画

事業内容: 土壌無害化处理

全体工期: 平成20年度～平成24年度

全体工事費: 約15億円(横浜市負担含む)

2. 平成21年度予定

土壌無害化处理施設の設計

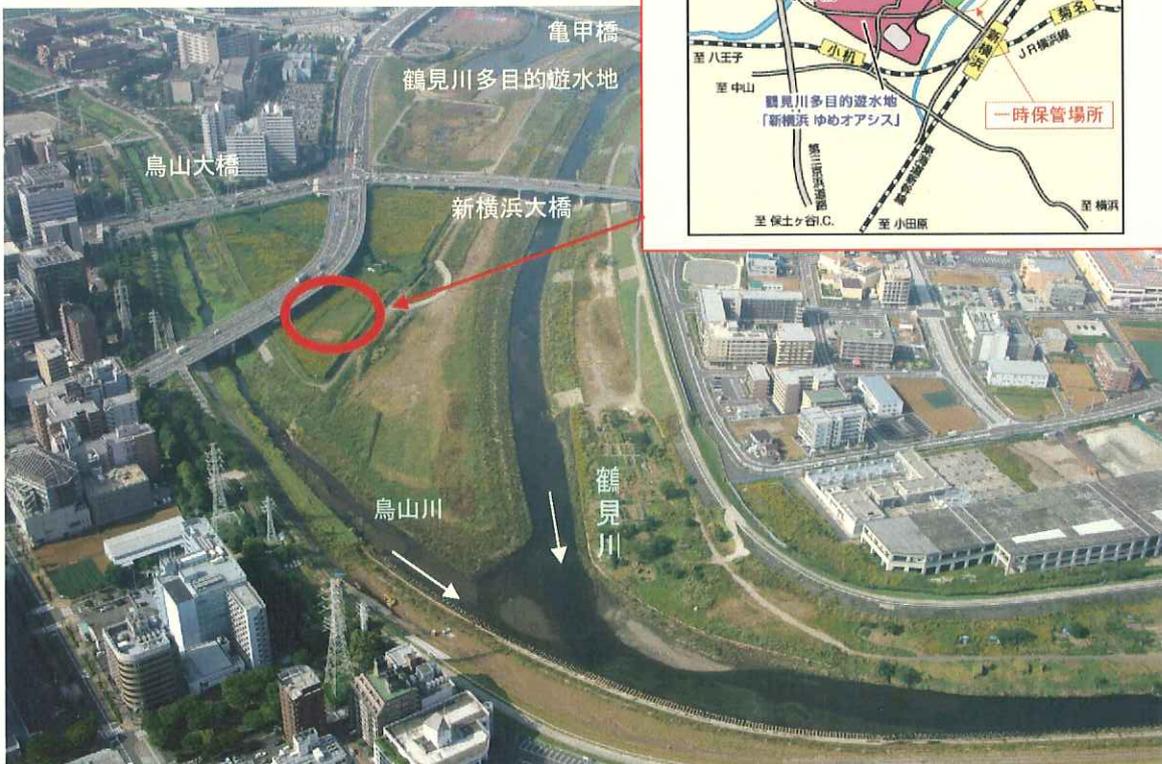
3. 期待される整備効果

鶴見川多目的遊水地内に一時保管されている有害物質と異物が混在している土砂の約5,500m³を無害化处理する。

4. 位置図及び概要図



位置図



鶴見川総合治水特定河川改修事業(堤防補強 駒岡5丁目地区)

こまおか ちょうめちく
神奈川県 横浜市 鶴見区

1. 事業の必要性及び概要

鶴見川流域の約7割は起伏した丘陵、台地であり、住宅需要の急増とあいまって急激に開発が進み、流域が本来有していた保水、遊水機能が損なわれたと指摘されている。そのため、鶴見川は総合治水特定河川として指定され、中・下流部の大規模浚渫や多目的遊水地の整備、下流部の築堤等の河川改修を行ってきており、堤防の浸透破壊を防ぐよう補強工事を行う。

○ 全体計画

事業箇所: 神奈川県横浜市鶴見区駒岡地先

事業内容: 鶴見川堤防補強工事

全体工期: 平成16年度～継続

2. 平成21年度の予定

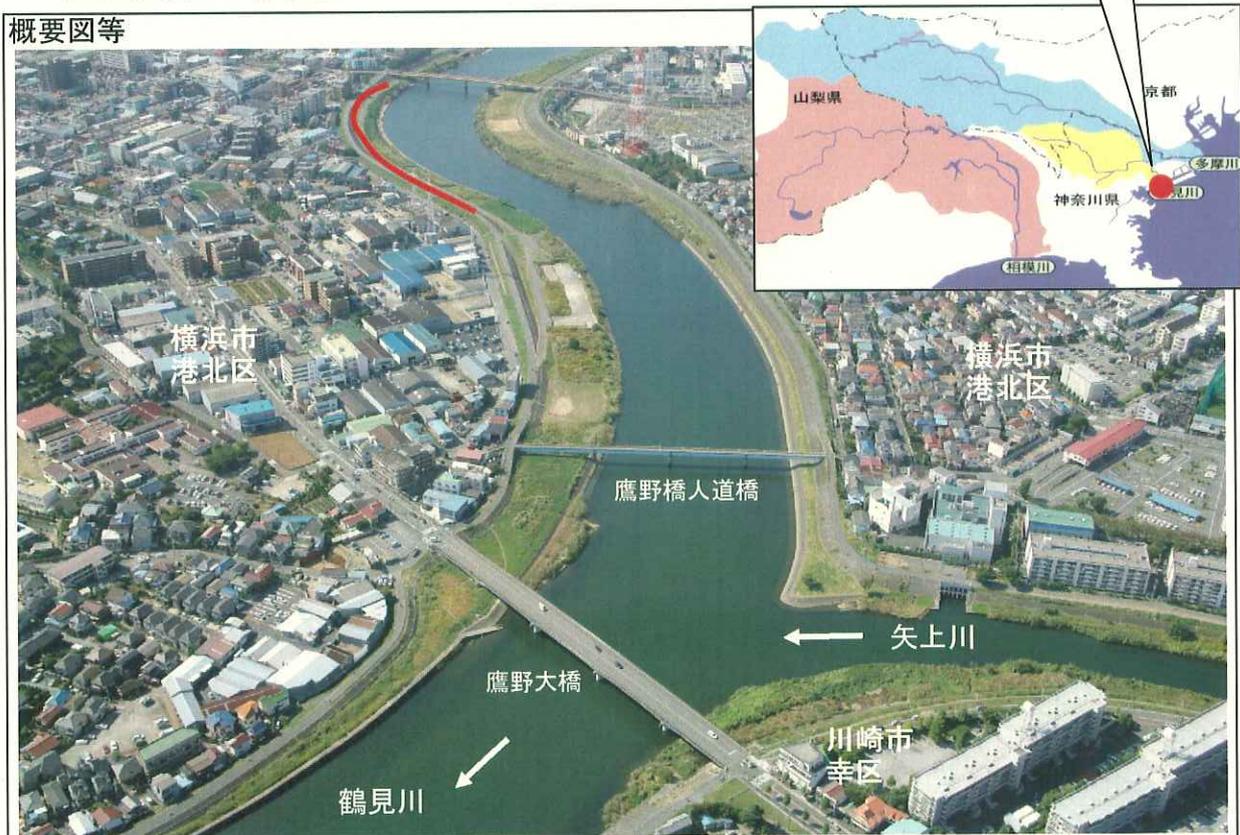
築堤護岸工事

3. 期待される整備効果

堤防の安全性を向上させ、洪水に対する地域の安全・安心を確保する。

4. 位置図及び概要図

概要図等



相模川 総合水系環境整備事業(馬入地区ふれあい施設整備)

H21事業費:72百万円

神奈川県平塚市、茅ヶ崎市、寒川町

1. 事業の必要性及び概要

相模川の下流部は市街地を流れており、グラウンドや水辺の楽校等が整備され、多くの人に利用されている。しかしながら、水際へのアクセス路が少ないことから、地元より連続性をもった散策路や階段等の整備が望まれている。

そのため、散策路等を整備し、地域の交流拠点としての水辺空間を創出する。また、自治体が整備する河川敷のスポーツ公園と国が整備する親水空間とを一体的に整備することで、賑わいのある水辺プラザを創出する。

○ 全体計画

事業箇所:神奈川県平塚市馬入地先～寒川町一宮地先

事業内容:散策路 L=6, 500m、階段2箇所

全体工期:平成20年度～平成24年度予定

全体事業費:約9億円

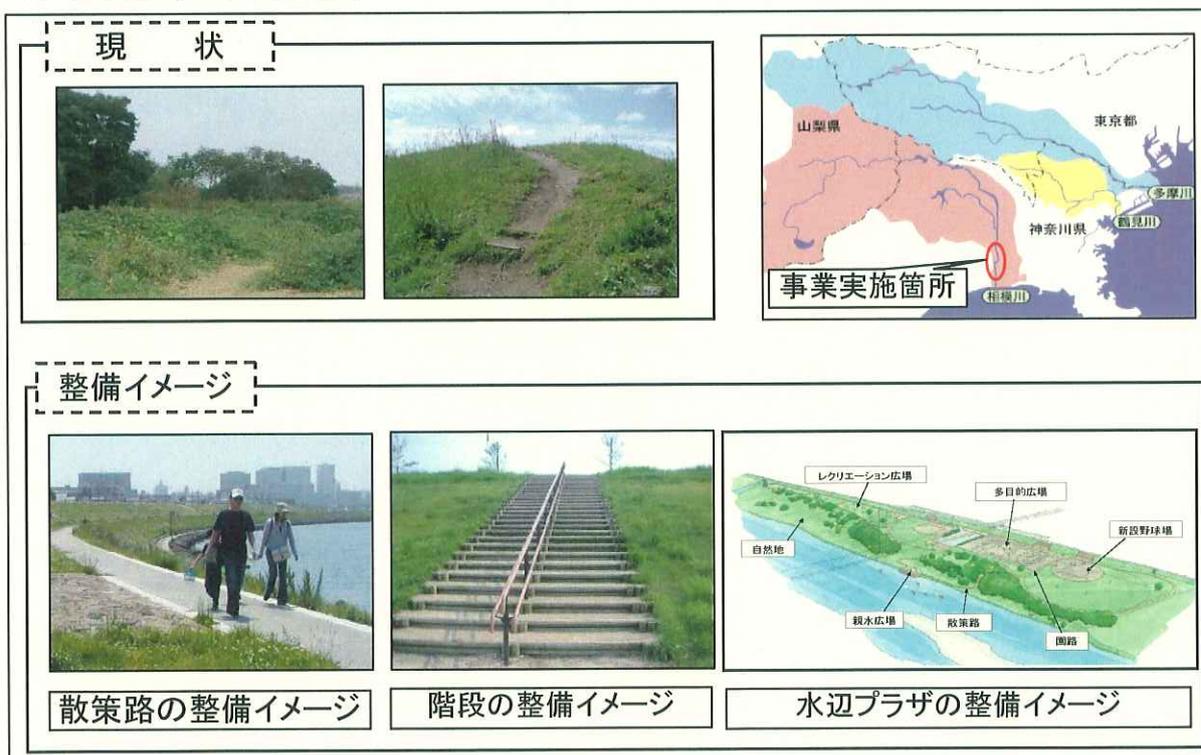
2. 平成21年度の予定

散策路整備

3. 期待される整備効果

水辺利用の利便性・安全性向上を図り、環境教育、自然体験活動の場を創出する。

4. 位置図及び概要図



相模川 河川維持修繕事業(堤防除草)

H21事業費:10.8百万

神奈川県平塚市、茅ヶ崎市、寒川町

1. 事業の必要性及び概要

堤防管理を容易にするとともに、河川利用者の快適性を保つために堤防の除草を実施する。

○ 全体計画

事業箇所:河口～神川橋(神奈川県平塚市、茅ヶ崎市、寒川町)

事業内容:堤防除草 312千m²

全体工期:平成21年4月から平成22年3月

2. 平成21年度の予定

堤防背後地が住宅密集地及び河川利用者が多い区間は年3回実施し、それ以外は年2回除草する。

3. 期待される整備効果

堤防の損傷箇所の早期発見による洪水時の安全性向上を図るほか、快適な河川空間の提供を図る。

4. 位置図及び概要図



【除草実施状況】



【除草後の集草状況】